

9月8日(日) クスリサンベツ川沢歩き報告

前日夜、刈田神社祭があることがわかり、急きよ、前日夜に幌別駅西口から岡志別運動公園に集合場所を変更連絡。(事前確認すべし！)

当日は、予定されていた9名全員が参加(永宮、東海林、佐藤、藤木(た)、川村(純)、笹山、斉藤、渡邊、安藤) 久々の秋晴れの元、遅れることなく7:00に岡志別を出発、

8:00に森野ホロナイP場で永宮さんと合流し、森野橋前広場に駐車。

8:20 森野橋を渡り、右側ゲートから林道入り、30分ほどで深沢林道との林道分岐に着き、一服。

右股の道道1045号線(千歳白老線)林道をひたすら、途中、火山灰地では崩壊箇所あったが歩きには支障なし。ゲートから約5km 1時間半歩き 予定通り10:00に林道右に入渓口が見える場所に到着。

登山靴から沢シューズに履き替え、沢装備する。

林道歩きで既に体は温まっているが関節部を主体に佐藤(尚)さん、独特の準備体操して、

10:20 ポンベツ川本流を膝下の所を3m程渡渉し、いよいよクスリサンベツに入渓。

入渓口から直ぐナメ床で、林道の長歩きも忘れ、皆さん一発目の感動。

直ぐにナメから苔むしたゴーロが出現、ちょっとしたスリル歩き。

東海林さんより♂の臭いがすると鋭い観察力。

右岸の小さな沢水に触れてみると温かい流れあり、さらに進むと岩の割れ目から温泉が噴出、

硫黄の臭いする。温度は低いが本物の温泉でした。(今回の沢歩きの1つ目の目玉品)

その後は緩やかな流れが続くナメ続きでした。

11:00 ナメ歩き40分で2つ目の目玉品の二股にある15m位の滝、5m位の2段のナメ滝に着く 時間的には2段のナメ滝の十流目指す考えもあったが、ナメ滝を安全に超えるにロープワークを要するので、今回はこの滝を終点とし、昼食をとり下山する。

40分程度のショートな沢ですが、クスリサンベツという通り、温泉あり、ミニクワンナイ？

(行ったことが無いが?)とのうわさのある綺麗なナメ床でした。

初心者向きで少しハード好みの沢やには少し物足りないかもしれませんが、

久々の沢であり、“また来たい”という声も挙あがっていたので、リトライ時に参加できない人もいたので 来年もやる価値あるかも！

8月やっていたら暑さで林道歩きで沢入りする前にグロッキーだったかも、結果的に9月の沢でよかったかも！

CL 安藤



森野橋を超え右側ゲートから
林道入り



深沢林道との分岐、深沢橋



道道1045号線(千歳白老線)



入渓口で装備



ポンベツ川本流を渡渉



クスリサンベツ川
入渓口から直ぐナメ



直ぐに苔むしたゴーロに変わり



ふと右岸の小さな流れ、
触ってみると温かい



さらに進むと岩の割れ目から
温泉が噴出、温度は低いが
硫黄の匂い



その後はナメが続き
緩やかな流れがを歩く



上部から7、8段はある糸滝



段々のナメ床



左股の15位の滝



左股の15位の滝に上がる



今回の終点、
右股の沢の5m位の2段のナメ滝



11:30 少し早い昼食

